

1 sun

二十四府県で市町村合併が行われ、青森県平川市など新たに四十三の市町村が誕生
サッカーの第八十五回天皇杯全日本選手権の決勝が東京・国立競技場で行われ、浦和が前身の三菱重工時代以来、二十五年ぶり五度目の優勝

2 mon

警察庁が、平成十七年中の交通事故死者数についてを発表。昨年の交通事故死者は六千八百七十一人で、四十九年ぶりに七千人を下回る
ドイツ・バートライヘンハルのスケート場の屋根が雪の重みで崩落し、十五人が死亡、三十人が負傷

3 tue

フランス政府は閣議で移民系若者による暴動で二〇〇五年十一月に発動された緊急事態法の解除を決定
絶滅のおそれのある野生生物の取引を規制するワシントン条約の事務局が、チョウザメ類を保護するためキヤビアの国際取引を当面禁止すると発表

4 wed

入札談合などの情報を自主申告した事業者に、申告順に三番目までならば課徴金を減免する課徴金減免制度を盛り込んだ改正独占禁止法が施行される
インドを訪問中の麻生外務大臣がアハメド外務担当国務相と会談し、外相間での戦略的対話を開始することで合意

5 thu

警察庁が正月三が日の初詣での人出状況をまとめる。主催者発表で、全国の主な神社・仏閣への人出は九千三百七十三万人と統計のある七十四年以降で過去最多に
イラクのバグダッドなどで爆弾テロが相次ぎ、百二十人以上が死亡、二百人以上が負傷

6 fri

二〇〇五年に日本を訪れた外国人は七百四十五万人と最多を記録したことが法務省の集計で分る
電気事業連合会が、青森県六ヶ所村の再処理工場で使用済核燃料から取り出す国産プルトニウムの利用計画を公表

7 sat

イラク南部サマーワで現地の部族長や政治家と連絡調整などを行う陸上自衛隊の復興業務支援隊第五次要員約百人がイラクへ向けて出発
第八十五回全国高校ラグビー大会の決勝が行われ、伏見工京都在桐蔭学園(神奈川)を三六対一二で破り、五大大会ぶり四度目の優勝

DAY FLASH

資料提供・日本広報協会

17 tue

政府の「若者自立・挑戦戦略会議」が首相官邸で開かれ、「若者の自立・挑戦のためのアクションプラン」(改訂版)をまとめる
一九八八年から八九年にかけて幼女四人が殺害された連続誘拐殺人事件の宮崎被告に最高裁が死刑判決

18 wed

訪米中の額賀防衛庁長官とラムスフェルド国防長官が会談し、在日米軍再編の最終報告を三月末までにとりまとめるために作業を加速させることで一致
鳥インフルエンザ対策の資金援助を協議するために北京で開かれていた国際会議は、北京宣言を採択し、開幕

19 thu

首相官邸でIT戦略本部が開催され、我が国の新たなIT戦略である「IT新改革戦略」を決定する
東京商工リサーチが二〇〇五年の全国企業倒産状況を発表。倒産件数は前年比四・九%減の一万二千九百九十八件で十四年ぶりの低水準に

20 fri

第六十四通常国会が召集され、小泉総理が衆・参両議院の本会議で施政方針演説を行う
米国から輸入された牛肉にBSE(牛海綿状脳症)の病原体がたまりやすい危険部位が混入していたため、政府は輸入手続の全面停止を米国に通告

21 sat

大学入試センター試験が全国七百十二の会場で始まる。英語の試験ではリスニングテストを初めて実施
ナパールの首都カトマンズで民主化を求める市民らが警官隊と衝突し、三百人以上が逮捕

22 sun

トリノ五輪の日本代表選手団の結団式・壮行会が都内のホテルで開かれる
サウジアラビアのアブドラ国王が中国を公式訪問。サウジアラビア国王の訪中は一九九〇年の国交樹立後、初めて

23 mon

二〇〇七年十月の郵政民営化の準備企画会社「日本郵政株式会社」が発足
内閣府は赤坂迎賓館における和風別館の機能の拡充等について検討する。迎賓施設整備等に関する構想談話を初開催

3月の予定

- 1 wed 春季全国火災予防運動 (～7日)
- 全国山火事予防運動 (～7日)
- 車両火災予防運動 (～7日)
- 3 fri 耳の日
- 7 tue 消防記念日
- 10 fri 農山漁村女性の日
- 21 tue 春分の日
- 22 wed 国連水の日
- 23 thu 世界気象デー
- 24 fri 世界結核デー



1/16

SF作家の瀨名秀明さんが東北大学工学部のSF機械工学企画担当の特任教授に就任。瀨名さんは、日本ホラー小説大賞を受賞した「パラサイト・イブ」や、ロボット研究に関する著作で知られる



1/29

世界ボクシング評議会(WBC)フェザー級タイトルマッチで、35歳の越本隆志選手が新王者になる。輪島功一選手の32歳を抜き、日本選手史上最年長のチャンピオンが誕生

トルコの保健省が、同国内の五人から高病原性のH5N1型の鳥インフルエンザウイルスが検出されたと発表
北朝鮮で軽水炉建設事業を行っていたKEDO(朝鮮半島エネルギー開発機構)の関係者の撤収が終了

東シナ海のカス田開発問題など日中間係全般について、日中両政府が北京で非公式協議を行う
イラク・バグダッドにある内務省庁舎近くの検問所で爆弾テロが相次ぎ、警察官ら三十人が死亡

トルコ訪問中の小泉総理はエルドアン首相と会談し、日本・トルコ友好百二十周年に当たる二〇一〇年にトルコで記念事業の開催を検討することを表明
イラン原子力庁次官が核燃料技術に関する研究を再開したと発表

内閣府が二〇〇五年十一月の景気動向指数(速報値)を発表。景気の現状を示す一致指数は六六・七%となり、五〇%を四か月連続で上回る
東京証券取引所が発表した二〇〇五年の投資主体別株式売買動向で、外国人買越額が十兆円を超え過去最高に

日本、米国、中国など二十二か国とWTO(世界保健機関)などが参加して東京で行われた新型インフルエンザに関する国際会議が、早期発見、対処能力の強化で合意し、閉幕
東京で開かれた国際交通セキユリティ大臣会合が、交通テロの抑止に向けた措置の実施で一致し、閉幕

パリのシャルル・ドゴール空港から成田空港に向かっていたエルフランス機が、操縦席から白い煙が出ているとして羽田空港に緊急着陸
タイのタクシン首相の辞任を求める数千人のグループがバンコク市内をデモ行進し、一部が首相府の敷地内に侵入

チリで大統領選挙の決選投票が行われ、中道左派と党連合のバチユレ前国防相が当選。同年初の女性大統領が誕生
NASA(米航空宇宙局)の無人探査機「スターダスト」の試験カプセルがユタ州に到着。彗星のちりを初めて地球に持ち帰る

日銀が二〇〇五年の国内企業物価指数を発表。前年比一・七%の上昇率は一九八九年以来の高さ
財務省が、対外及び対内証券売買契約等の状況を発表。二〇〇五年の外国人投資家による日本への債権投資額が十八兆八千五百億円と過去最高を更新

16 mon

15 sun

14 sat

13 fri

12 thu

11 wed

10 tue

9 mon

8 sun

首相官邸で日本プロスポーツ大賞授賞式が行われ、大相撲の横綱朝青龍閣に内閣総理大臣賞が授与される
宇宙航空研究開発機構はH Aロケット8号機を種子島宇宙センターから打ち上げ、陸域観測技術衛星「だいち」を所定の軌道に投入することに成功

首相官邸で郵政民営化推進本部が開かれ、日本郵政公社の業務等の承継に関する基本計画を決定
中国国家統計局は、二〇〇五年の国内総生産(GDP)が十八兆二千三百二十一億円で、実質成長率が前年比九・九%になったと発表

財務省が二〇〇五年の貿易統計速報を発表。貿易黒字は前年比二六・五%減と四年ぶりに前年実績を下回る
電子情報技術産業協会が二〇〇五年のテレビの国内出荷台数をまとめる。液晶テレビがブラウン管テレビを初めて上回る

総務省が二〇〇五年十二月の全国の消費者物価指数を発表。変動の激しい生鮮食品を除く総合指数は九八・一で二か月連続のプラス。二か月連続の上昇は九八年四月以来
パレスチナ評議会選挙で中央選挙管がイスラム原理主義組織ハマスが単独過半数を獲得したと公式に発表

ダボス会議(世界経済フォーラム年次総会)に合わせて開かれていたWTO(世界貿易機関)の閣僚級会合が閉幕。四月末の市場開放の大枠合意の目標を確認
ポーランド南部のカトウツェの大規模な展示施設で屋根が崩落し、六十六人が死亡、約百六十人が負傷

イラク南部サマーワで人道復興支援活動を行う陸上自衛隊の第九次人道復興支援群の第一陣約百五十人がイラクへ向けて出発
裁判員制度の二〇〇九年までの導入に向けて、最高裁などが都内でフォーラムを開催。福岡、前橋を皮切りに全国各地で開催されたフォーラムの最後を締めくくる

東京株式市場は、二〇〇〇年九月初め以来、五年五か月ぶりに一時、一万六千七百円台を回復
国民保護法の成立を受け、九州・沖縄各県の危機管理担当者が自治体関係者として初めて日米共同方面隊指揮所演習に参加

厚生労働省が発表した二〇〇五年十二月の有効求人倍率(季節調整値)は一・〇〇倍となり、十三年三か月ぶりに一倍台に回復
国家公務員の定員削減などに関する政府の「行政減量・効率化有識者会議」の初会合が首相官邸で開かれる

31 tue

30 mon

29 sun

28 sat

27 fri

26 thu

25 wed

24 tue

国内
国外

人物
列島

写真提供・共同通信社



1/16

訪日する外国人観光客の増加を目指す「ビジット・ジャパン・キャンペーン」の米国親善大使にPUFFYの大貫亜美さん(右)と吉村由美さんが選ばれ、北側国土交通大臣が任命状を授与